

補助犬と使用者に寄り添う支援

# 働く犬

コミコミ紙



発行：働く犬を支援する会 URL: <http://www.hatainu.com/> TEL: 0463-54-4660 〒254-0082 神奈川県平塚市東豊田 594-32

## “コラボレーション”しています

神奈川県立相原高等学校 & 働く犬を支援する会

昨年の当会恒例セミナーに参加して下さったことをきっかけに、今年度のセミナーでは発表もしていただき協力関係にあります。神奈川県立相原高等学校（鈴木芳行校長、生徒数675名 <http://www.aihara-h.pch-kanagawa.ed.jp/>）農業クラブ畜産科学分会ドッグチーム（担当教諭畜産科学科中村先生）をご紹介します。譲り受けた災害救助犬スカイ号（ラブラドルレトリバー・雄、タイトル写真）の飼養管理や訓練に、日々生徒さんたちが取り組んでいます。

### ドッグチームと働く犬“スカイ君”

災害救助犬の訓練や犬の一般的な飼育管理について学びため、定期的に横須賀警察犬訓練所（進藤所長）を訪れていた生徒さんたち。その熱意が、災害救助犬を日本に初めて紹介した進藤所長へ伝わり「日頃から牛・豚・鶏などの家畜飼養を通して“命の大切さ”について学んでいる高校生に、犬がいる高校生活を楽しんでもらいたい。」というご厚意により、学校での災害救助犬に関する取り組みが実現！

災害救助犬とは、犬の優れた嗅覚を用いて、災害時に家屋や土砂に埋もれた姿の見えない生存者を探し出す犬。被災地の厳しい状況でも、生きている人間が発する「におい」に反応するように訓練された犬です。

戦後、最大の死者を出す大惨事となった阪神淡路大震災では、約6,400人もの人々が亡くなりました。その被災者の多くが、家屋の下敷きになっていたそうです。当時の日本では、災害救助犬の知名度が非常に低く、政府からの出動許可が下りたのは、被災から3日も後のことでした。

災害救助犬による救出のリミットは72時間。それは、被災者の体力が限界に達し、3日後には「1分にひとりが、瓦礫の下で命を落とす。」と、言われているからです。

阪神淡路大震災では、出動が遅れてしまった結果、救助犬が探し出せた生存者は一人もあらず、発見できたのは遺体ばかり……。

捜索現場は過酷な状態で、二次災害による火災の煙や、壊れた家電から滴る油のにおいがたちこめていたそうです。嗅覚が頼りの災害救助犬にとっても、最悪なコンディションだったと進藤先生はあっしやっていました。

当時、スイス隊・フランスの救助隊とともに、災害救助犬を連れ日本で唯一、横須賀隊として救助活動を行った進藤先生は「1分でも早く、災害救助犬が出動できていたら、ひとりでも多くの命を救えたかもしれない。」と、悔しそうにあっしやっていました。

災害救助犬の訓練の成果を十分に発揮できず、多くの命が絶たれたという現実……。

あれから15年が経過した今日、働く犬の必要性を感じた生徒さんたちは、ドッグチームを結成し「地震の多い日本だからこそ、災害救助犬について学び、たくさんの人に災害救助犬の必要性をPRしたい」と、定期的にプロの訓練士から訓練について学び、啓発活動

に取り組んでいます。

現在、JKC（社）ジャパンケネルクラブ主催の災害救助犬訓練試験に合格し、出動が可能とされる認定犬数は274頭。神奈川県立相原高等学校へ寄贈されたスカイ号もそのうちの1頭です。合格率30%の試験に合格した、地震の多い日本にとってはまだ出動頭数の少ない、とても貴重な犬を譲り受けた生徒さんたちは、朝早くから放課後遅くまで、飼養管理や訓練活動に取り組み、避けることができない自然災害の現場で、災害救助犬が一人でも多くの命を救えるようPR活動などに取り組んでいます。

### 橋本公民館こども向け事業に参加しました！

啓発活動の一環として、平成21年7月に行われた「橋本公民館青少年部会夏季子ども向け事業」にて「働く犬と遊ぼう！」というイベントに参加いたしました。

相模原市橋本にお住まいのお子さんを集めたイベントで、神奈川県立相原高等学校ドッグチームの生徒さんとともに働く犬に関するイベントを企画！

姿の見えない人を探し、吠えて知らせる災害救助犬を活用した「災害救助犬スカイちゃんとかくれんぼ」、目隠しをして盲導犬の安心した誘導を体験してもらう「盲導犬と歩こう！」、子どもたちが「働く犬」について楽しく学べるよう、NHKの「防災いろはカルタ」を活用した、働く犬と一緒に取り組めるゲームを実施いたしました。

お子さんたちには犬とのふれあいを通じ、盲導犬や災害救助犬の役割について理解してもらええる善い機会となりました。また、犬と一緒にゲームに参加するという意外な企画に、子供たちはとても喜んでくれました。さらに、相原高等学校で飼育している牛、豚、鶏、ポニー、モルモット、ハムスター、カブトムシなどの生きている動物たちとのふれあいを通じて、命のめくもりを感じてもらったようです。

今後も、神奈川県立相原高等学校ドッグチームの生徒さんとともにいろいろな活動に取り組んでいきます。



## はた犬&ほじょ犬飴、全国産業教育フェアで販売!

日頃から、募金活動などの啓発活動に取り組んでいる相原高等学校ドッグチームの生徒さんたちから「働く犬を支援する会の活動を多くの方々にご理解いただくために、チャリティーグッズを開発してみてもいい?」とご提案いただきました。

その後、話し合いを重ね、補助犬の啓発グッズの開発に取り組んでまいりました。その第1弾として、このたび「ほじょ犬あめ」・「はた犬あめ」の商品化が実現!

まいあめ工房(名古屋市)さんにより、厚生労働省の「ほじょ犬マーク」と、働く犬を支援する会のロゴマークの「はた犬くん」を日本伝統の金太郎飴で見事にアレンジしていただきました。

「ほじょ犬あめ」は、厚生労働省の「ほじょ犬マーク」をモチーフにしたラムネ味。販売による収益は、補助犬育成団体への寄付金とさせていただきます。

また「はた犬あめ」は、働く犬を支援する会のマスコットマークをあめにしたもので、大会運営のはた犬ケアハウスへの寄付金となります。

「これからほじょ犬になる犬と現役犬のための“ほじょ犬あめ”」

そして「引退犬のための“はた犬あめ”」この2種をそれぞれ6粒、計12粒(250円)のセットにし、販売いたします。

写真では、このかわいい飴が充分にお伝えできないのが残念です。ぜひ、お手に取ってご賞味いただきたいと思います。このはた犬飴&ほじょ犬飴は、相原高等学校の文化祭(10月31日・11月1日)および、11月14日・15日にパシフィコ横浜(展示ホールおよびパーク)にて開催される「第19回全国産業教育フェアかながわ大会」(<http://sanfair.jp/>)にて販売予定です。数に限りがございます。どうぞお見逃しなく!! 他のグッズも開発中、こちらもご期待ください!!



## 若返った交流納涼会

ケアハウスの屋上から眺める、大磯の花火大会も二回目になりました。

今回は夏休みにインターシップやボランティアにお越しくださる相原高校の先生生徒さん、日本獣医生命科学大学の学生さんたちの参加により交流納涼会と銘打ちました。平均年齢が急降下して、スタッフも参加の皆様も顔がほころんでいました。

7月25日4時頃、参加の皆様をケアハウスで前日に続くウエルカムかき米にてお出迎えました。この時期の4時はまだまだ照り返し

も強く、準備に追われていた仲間たちもこのかき米に癒されました。

食事をしながら恒例の参加者自己紹介は、大抽選会の企画で順番が決まりました。

空クジ無しでわくわくびっくりしながらも、しっかりご自身のアピールもして楽しいひとときとなりました。

その後渚コンサートに繰り出し、ゲストの中村あゆみさんのライブを聞き、お腹にひびくほどの近さで打ち上げられる花火を堪能しました。

参加してくださった皆さん、準備からスタッフとして活躍したインターシップの生徒さん、我がスタッフ、暑い中ありがとうございました。

## “盲導犬サーブの故郷”を訪ねた研修旅行



5月15、16日一泊二日で、財団法人中部盲導犬協会への研修旅行を行いました。

参加人数は12名、初日はお天気にも恵まれました。

中部盲導犬協会は平成15年に建てられた3階建ての立派な建物で、便利な町中にあります。玄関を入るとまずは一頭の引退犬が迎えてくれました。

そして、訓練士さんからの諸注意を受け、希望者を三頭の訓練犬たちが体験歩行……なんと、訓練士さんたちと一緒に屋外へ、体験歩行を希望していましたが、まさか路上に出られるとは思ってありませんでしたので感激でした。アイマスクをして、ハーネスを右手に持ち……あれ盲導犬は左では? そうなのです、中部盲導犬協会

はハーネスを左右どちらでも持つ両手持ちなのです。盲導犬が常に建物側に来るようにハーネスを持ち替えること、歩く方向に体をひいてOKで方向転換するなど、はじめて聞くことばかり。

路上でまごまごしていましたが、横断歩道を2、3回渡っている間になれてゆきました。盲導犬の動きにもだんだん体がついていくようになり、なんかこの子となら怖くないぞ……と、思ったとたん協会へ到着でした。

そして、建物の中の案内を受けました。大きなホールや共同訓練用の個室、食堂、調理室など、盲導犬たちとの新生活をスタートするために必要な設備が揃っていました。帰り間際、当会へ大型犬用カート、紙おむつ、歩行補助用のベルトのご寄付をいただきました。中部盲導犬協会の皆さんの温かいお気持ちをありがたく受け取らせていただきました。

感謝感激の中、バスは夕宵の三ヶ根へ……山の上に建つ簡便の宿三ヶ根は三河湾を一望できる温泉宿です、夕食の御馳走と温泉は長旅の疲れを癒してくれました。

二日目は生憎のお天気……浜名湖でロープウェイに乗りオルゴール



ルミュージアムへ定時の演奏に間に合わなかったのですが、いくつかのオルゴールの演奏を楽しみました。

うなぎパイの工場見学は昼時のこともあり、あの良い匂いにつられて一同お土産を購入、無事帰路へつきました。

## 寄稿 両手持ち

財団法人中部盲導犬協会では盲導犬のハーネスの左右持ち替えが行われています。

個人的に、左右持ち替え（両手持ち）の両側通行という歩行方法に以前から大変興味を持っており、左手持ちの左側通行という歩行方法に比べて、右側の目的地が捜し易いという大きなメリットのある歩行方法だと思っていましたので、とても楽しみにしていた研修旅行でした。

何より、驚くと同時に有り難かったことは、街中に出て、一般道での体験歩行をさせて下さったことです。交差点横断、車歩道区別のある道、区別のない道、駐車車両の回避（障害物回避）等を入れながら、結構長い距離を一人一人に歩かせて下さり、それぞれ貴重な体験が出来ました。

参加して下さいました皆さん、盲導犬たち、バスの運転手さん、中部盲導犬協会の皆さん、かんぼの宿のスタッフさん、この旅行に関わってくれた、すべての方々ありがとうございました。

※ 大型犬用カートは中部盲にちなんでサーブ号と命名しました。

私自身は、体験歩行をしている人の後ろから、歩行の様子を見学させて頂いたのですが、中部盲導犬協会の歩行方法・命令語や指示の出し方等、色々勉強になりました。以前、左右持ち替えの両側通行をすると、盲導犬が戸惑うとか負担が大きいのことを聞いたことがあるのですが、そのような様子は見受けられず、盲導犬の歩行もとてもスムーズでした。子犬の頃から、左右持ち替えの両側通行をしていれば、そういうものだと犬自身も習慣になり、戸惑うこともないのだと思います。詳しくは聞けなかったのですが、パピーウォーカーさんにも、散歩時にそのように歩いてもらっているのではないかと推察しました。とても有意義で勉強になった研修旅行でした、中部盲導犬協会さん、本当にありがとうございました。

(M.O)

## 認定NPO法人申請の経過報告

理事長 栗田 忠生

認定NPO法人とは、NPO法人のうち、その運営組織及び事業活動が適正であること並びに公益に資することについて一定の要件を満たすものとして、国税庁長官の認定を受けた法人のことをいいます。

3月11日東京国税局に申請のための相談にうかがいました。設立準備金は、寄付金に算入、管理費は、事業費に含まれない等のご指導を受けたくえ3月26日平塚税務署に認定NPO法人の申請書を提出致しました。

4月23日東京国税局の事務所への臨場による確認調査が実施されました。

この調査を受けるため帳簿を見直したところ第4期の記帳に不備(重複)が見つかりました。また認定NPO法人を取得するためには、役員構成で特定の法人等グループの役員は、全役員1/3以下と定められています。現在W社に勤務する理事が3名います。現在理事6名 監事1名が就任していますので3/7となり認定NPOには、認定されません。上記理由により4月28日申請を取り下げました。6月6日事業名を実態に合った名称に変更、役員定数変更のための定

款変更について臨時総会を召集しました。満場異議なく承認されました。

臨時総会で定款の変更が認証されましたので6月8日神奈川県知事に定款変更認証の申請をおこないました。定款変更認証は、およそ3カ月かかります。9月初旬に認証され次第、新役員の登記を行います。

11月下旬に開催予定の総会で平成20年度事業報告書、貸借対照表、収支計算書及び平成21年度事業計画書、収支予算書が承認された後、神奈川県へ事業報告書等の書類を提出いたします。

認定NPO法人の再申請は、平成21年4月1日から平成22年3月31日までの間に申請を行う場合は、実績判定期間を2年(原則5年)とすることができる【実績判定期間の経過措置特例】の適用を受けて実績判定期間を平成19年度、20年度で申請を行いたいと考えています。

申請を行うことにより「会計処理の適正化の促進」「活動の透明性に対する意識の向上」が改善されました。

引き続き、皆様のご指導ご協力をお願い申しあげます。



### うらら、ネリードによろしくね

盲導犬の退役犬であり親ばかりを差し引いても、こんなにも素然自若な子がいたろうかと自問します。

落雷など大きな物音・近辺で起こる突発的な事象、掃除機を体に掛けて

も動じずダウン(伏せ)した体勢が変わりません。そのたいへん愛すべき性格を、私はこれからも誇りに思い続けます。

そんなうららが小躍りするときがあって、後脚を蹴り上げるように小躍りしてはしゃぐ姿は、大きく四角な顔に似合わずこのうえ無く愛らしいものでした。うららの小躍りを見たら、その日のもやもやは跳んでいってしまいます。

2階からかけ降りてくるのがいつしか少なくなり、13歳半という年齢を感じてはいました。ケアハウスでは高齢犬に「成人式迎えようね。」と言っています、時間は誰にも公平で、元気に見えたらうららの老化は心臓にきていました。

後肢がふらっとして抱きかかえた症状からはじまり、検査が終わった日も「お散歩に行こうよ」と誘い、安心させるかのよ様な態度で、その4日後には会社と一緒にいきました。

10日あまり経った7月17日、小躍りするときの駆け足で天に昇ってしまいました。石が転げ落ちるように逝ってしまったことを、現実なんだろうかと錯覚するときがあります。

いつも居た場所、私が見える位置にいて時々目を合わせていたことを思い出しては、胸のなかのうららを無で無でとしています。ぎゅっと抱くと“でへっ”という顔は、多くの方々に間違いなく笑顔にしていたと確信しています。

うららにもう一度言います「お疲れ様たくさんありがとう、ネリードによろしくね」 栗田直枝



※うららに関わってくれた皆様、この場を借りてケアハウスと家族一同より心から御礼申し上げます、ありがとうございました。

直輸入のため  
お買い得!!

# エレンのお気に入り『はた犬グッズ』

お買求めはホームページかお電話で!  
<http://www.hatainu.com/>  
TEL.0463-54-4660

フーツ  
やっと終わった耳掃除!  
あー気持ちよかった!!  
ZZZZZ...



ノルバサンオティック ¥1,500  
獣医さんもおすすめ、耳洗浄液 118ml 入



クッシーラバーブラシ ¥1,000  
"使って大好評、お手頃なプレゼントに  
どうぞ!!

いままでの中で  
このゴムブラシが  
いちばん気持ち  
いい!!



ナイラボーン ¥1,500  
歯のエナメル質を傷つけず、歯磨と  
ストレス解消に効果大!

いつまで待って  
早くくばりたいのよ  
早くくばらせてよー  
なよー  
命が  
命が



たぐさを噛んで  
欲しいなあ



**チャーちゃんの本**  
盲導犬チャームとわたしが  
一緒に歩いた7年間の思い出。  
もっと一緒にいたかった、  
もっともっと生きていて  
欲しかった願い。  
外山燕子著  
グッドグッドチャーム  
定価1,000円(税込送料別)  
好評発売中



盲導犬アイリーがモデルです  
黄色と黒の2種類  
各700円

「はたいぬグッズ」は発送手数料一律500円 (※ 諸般の事情により価格改定検討中)

## 会員募集中

9月1日現在  
正会員数: 29名  
賛助会員数: 102名

賛助会員は1年間一口3,000円で、一人何口でもかまいません。  
申し込みのURL <http://www.hatainu.com/kain.htm>

正会員は入会費8,000円 年会費12,000円です。  
申し込みのURL <http://www.hatainu.com/shain.htm>

加入は随時受け付けております。  
更新は、入会または更新後約一年経過された会員の方に、当会  
からご連絡いたします。皆様のご支援ご協力お願い致します。

特定非営利活動法人  
振込先: **働く犬を支援する会**  
郵便振替: 00200-9-0130454  
横浜銀行平塚支店: 普通 2036588

## 募金箱設置のお願い



木製募金箱 オイル缶募金箱

店舗などのレジの近くに募金箱  
を置かせてくださる方を募集し  
ています。

設置していただける方は、下記  
ホームページ、又は

☎ 0463-54-4660

にてお申し込み下さい。

<http://www.hatainu.com/bokin.htm>



甘い香りに包まれてまごころ伝えます

- 洋菓子
- 和菓子



- 喫茶
- パーラー

# 風月堂

上野廣小路

東京都台東区上野1丁目20-10  
TEL. 03(3831)1000 FAX. 03(3831)1116

補助犬と使用者に寄り添う支援

# 働く犬

コミコミ紙



今更な犬を愛する。玉子ちゃん

発行：働く犬を支援する会 URL: <http://www.hatainu.com/> TEL: 0463-54-4660 〒254-0082 神奈川県平塚市東豊田 594-32

## ご紹介する“ニューフェイス” 高校生理事誕生

佐藤 美岐

今回働く犬を支援する会の高校生理事を就任させていただきました。神奈川県立相原高等学校畜産科学科3年の佐藤美岐です。初めてのことで戸惑うこともあると思いますが、一生懸命やりますのでよろしくお願いします。

働く犬を支援する会と出会ったのは、私が2年生の頃でした。夏休みを用いて職業体験で働く犬を支援する会のケアハウスを訪問しました。私は将来盲導犬訓練士になりたいと思っていたので、とても貴重な体験をさせていただくことができました。また点字や視覚障害者の方の誘導なども教えていただき、初めてで全然うまくできなかった私に「ありがとう」と言ってもらい、とても嬉しかったです。働く犬を支援する会と出会い、色々な体験をさせていただきました。そんな頃、栗田さんに「理事をやってみない？」と誘われた時は、戸惑いもありましたが、とても嬉しかったです。理事をすることで少しでも盲導犬の普及の役に立ちたいと思い、お話を受けました。今年の7月には、研修旅行を企画させていただきました。たくさんの方々にご参加いただき、とても嬉しかったです。今後とも色々な活動に積極的に参加していきたいと思っておりますので、皆様よろしくお願ひします。

“祝入賞” ボランティア・スピリット・アワードの関東ブロックに当会理事佐藤美岐が入賞しました。

「ボランティア・スピリット・アワード」は、米国最大級の金融サービス機関ブルデンシャル・ファイナンシャルが95年からアメリカにて開始した青少年を対象としたボランティアを支援する制度です。現在ではアメリカ、日本、韓国、台湾、アイルランドで開催されています。

業の発展に役立て今日の光友会が存在しています。

2008年に光友会相談役に就任されたのを機に、当会の副理事長を進んでお引き受けくださいました。

理事会には殆ど無欠席で出ていただき会議では一言二言的確なアドバイスだけで会議は順調に異議なしでお開きとなります。会議が早くお開きになるのもそのはず、後に場所を変えての本会議が待ち受けており、そこでは本物の五十嵐先生が現れチューハイのグラスが重なるころにはダジャレも真骨頂、一同をそれは愉快にしてくださいました。

一つだけ御説ひしなければいけない事があります、それは先生に「カツ玉」というメニューをお勧めしてしまった事です。これはカツ丼のシャリ抜きと言えは察しがつくと思いますが、トンカツをだし汁で煮込み卵仕立てにした物で、これは先生の体形やご年齢の方には健康上好ましくないとわかっていたのですが、これがなくては始まらなくなり「カツ玉」が先生の「お通し」となっていました。先生が入院されることになった速因では無かろうかと、悔やんでいます。

生涯を福祉活動に捧げられた五十嵐先生の最後のお仕事に、当会の副理事長を務めてくださいましたことを、一同心より深く感謝申し上げます。御冥福をお祈り申し上げます。

2009年11月末に五十嵐先生が他界されて以来副理事長席は空席となっております。五十嵐先生の後任となるに相応しい人物などそうたやすく見つかる筈も無いので永久欠番かと思っておりましたが組織上そういう訳にもいかず、役員互選によりその役が私にまわってきました。五十嵐先生の力業には及びませんが、非営利活動は活動するほどに貧窮になります。兎に角やらさせていただきます、宜しく御願ひ申し上げます。

## 副理事長拝命 前副理事長五十嵐光雄先生を偲んで

宮川 元也

前任副理事長五十嵐先生については今更私が紹介するまでも無く福祉界の竜馬のような「先生」でした。太平洋戦争敗戦を挟んで幼い時期を世間並み以上の自由奔放に小一でトランプ小二で花札小三で麻雀を覚える順調以上の悪ガキに育ったところ小学校高学年頃から視力が衰えはじめ日本の形勢が衰え始める頃、皮肉にも時を同じくして五十嵐少年の視力は人の手を借りなければならぬほど悪化してしまっただけです。その後戦後の混乱期の中に有っても幸と不幸が絡み合いながらも三療（鍼灸マッサージ）の資格取得をはじめ大学卒業、教員資格取得等々趣味道楽に及ぶと数限りなく、其の他数知れない資格を取得されご本人曰くライセンスマニアで後々の事

## 花寿を迎えて

— 陳謝・感謝・そして結社を

五十嵐 光雄



喜寿を迎えて

発行日 二〇一〇年一月三〇日

著者 五十嵐光雄

発行者 五十嵐紀子

制作 社会福祉法人光友会

## 第2回 日本動物大賞

### 相原高の災害救助犬「スカイ」功勞動物賞を受賞



第2回日本動物大賞功勞動物賞表彰式

高校で飼育される災害救助犬として、地域の災害訓練に参加し、市民の防災意識の向上に貢献するとともに、生活を共にする高校生にスカイ（ラブラドルレトリバー、雄、7歳）が命の大切さを教えていると評価され、第2回日本動物大賞（財団法人日本動物愛護協会主催）の功勞動物賞を受賞しました。

2003年「ワンワンワンの日」に横須賀警察犬訓練所（横須賀市長沢、進藤所長）で生まれたスカイは、合格率30%という社団法人ジャパンケネルクラブ（社）JKC）主催の訓練試験に合格した災害救助犬。

卒業生が訓練士として勤める同訓練所の進藤所長が「家畜飼養を通して“命の大切さ”について学ぶ生徒たちに、犬がいる高校生活を楽しんでほしい。」と、災害救助犬スカイを譲ってくださいました。漏かいお力添えのもと、高等学校における日本初の災害救助犬飼育を開始。スカイは2008年7月から働く犬について学ぶ高校生と一緒に、毎日楽しい高校生活を送っています。

「犬は最良の友」と形容されるほど、古くから人間と共に暮らしてきた動物。しかし、人間の利己的な理由で処分される犬たちは、後を断ちません。そんな中、スカイと生活する私たちは「人間のために嗅覚と心を差し出し、命をかけて瓦礫や家屋の下敷きになっている姿の見えない生存者を人命救助に取り組む」災害救助犬の姿を知り、スカイから命の大切さを教えられました。

今では、相原高校を訪れる子供たちの人気者となり、地域の方々にも愛されています。

私たちは、スカイと生活する中で「地震の多い日本だからこそ、災害救助犬について学び、たくさんの人に災害救助犬の必要性をPRしていきたい」と、その必要性を強く感じ、訓練士から定期的に災害救助犬の訓練方法をご指導いただき、活動の場を広げ、スカイと共に災害救助犬のデモンストレーションに取り組んでいます。

地域の方々やイベントを見てくださった来場者から「スカイちゃんって、すごい犬ね。」や「災害救助犬を初めて知りました!」、「大地震が起こるかもしれないと思うと、とても不安。万が一に備えたい。」など、多くのコメントをいただくことができ、スカイと私たちの活動が災害救助犬についての理解を深めていただくきっかけとなりました。

スカイと共に活動することが、多くの方々に防災活動の必要性を再認識していただく良い機会となり、私たちにとっても活動の垂い励みとなりました。

学校という教育活動の場で犬を飼育することが、スカイの負担にならないが、毎日の当番などをみんなで話し合い、私たちは朝早く

から放課後遅くまで、また土日や祭日なども、なるべく多くの時間をスカイと一緒に過ごせるよう配慮しています。

また、スカイの日々の体力・健康の維持に配慮しつつ飼養管理や訓練活動、ハンドラーとしての犬の誘導について取り組むとともに、動物と人間が暮らすために大切なことを学んでいます。



災害救助犬スカイ

財団法人「日本動物愛護協会」の「動物の長距離移動は酷で愛護に反する」との意向により、スカイは6月7日に行われた、東京都内で行われた表彰式には出席しませんが、スカイの代わりに私たちが授賞式に参加してきました。

審査委員長を務める映画監督の羽仁進先生からは「スカイちゃんに会いたかったなあ。これからがんばってね」と嬉しいお言葉を頂きました。多くの有名な方々が出席される中、初めての体験にとでも緊張してしまいましたが、今までいろいろなことを教えてくださった方々の支えがあってこそ受賞できたと思うと、感謝の気持ちでいっぱいです。そして、これからも、私たちにできることは何かを考え、働く犬の普及・啓発活動に協力し続けていきたいです。

## 第7回はた犬講演会

### 社会に貢献してるだワン

平成21年8月8日ひらつか市民活動センターにおいて第7回はた犬講演会を開催しました。第一部座談会“働く犬”社会に貢献してるだワン「私にとって働く犬とは」をテーマに河田動物病院院長河田先生、神奈川県立相原高等学校畜産科学科教諭中村先生、盲導犬ユーザー望月さんご夫妻、進行を当会理事栗田による座談会。

第二部「タンDEM盲導犬コナン君とおきの話」、第三部研究発表、県立相原高等学校のドッグチーム、という構成でした。

第一部では、皆様の自己紹介のあと、それぞれのお立場から「働く犬」についての思いやお考え、そして当会が今後地域や社会にどのように関わり貢献できるのかを、模索していく為のご提案をいただきました。第二部では、一部に引き続き、タンDEMという二人で一頭の盲導犬を使われている望月さんご夫妻が、「我が家のおぼっちゃまは宝物です。」とおっしゃるコナン君との楽しい暮らしぶりをお話していただきました。第三部の研究発表は、神奈川県立相原高等学校で飼育されている災害救助犬「スカイ号」との活動や、働く犬の研究について発表をしていただきました。

ご来場の皆様は、盛りだくさんの内容をお聞きくださり、働く犬たちへのご理解を深めていただくことができました。ご協力くださいました皆様に心より感謝申し上げます。



## 「盲導犬の里 富士ハーネス」の 見学と朝霧高原の旅

7月17日(土)第5回目の研修旅行は、神奈川県立相原高校の生徒の皆さんが企画した今回初めての日帰り旅行です。

盲導犬1頭、引退犬3頭、家庭犬1頭と参加者31名の貸し切りバスを使った旅行となりました。

8時に高校生や橋本駅集合の第一陣がバスに乗り出し出発、10時30分に大磯駅の第二陣が合流し、東名高速道路を一路富士I.C.へ向かいました。

昼食後、午後1時40分過ぎに日本盲導犬総合センター「盲導犬の里富士ハーネス」に到着。ここは平成18年秋に開設した盲導犬の総合施設で、当会は、平成19年6月9日の訪問に続き2回目です。

到着と同時に盲導犬使用者の職員押野さんとデモンストレーションのボランティアさんが出迎えてくださり見学の期待が高まります。施設は広大で盲導犬の引退犬棟から回廊を進み、繁殖犬棟では盲導犬候補犬の子犬が室外のサークルで遊んでいました。あまりに愛らしく離れられなくなりそうなところデモンストレーションの開始時間となって会場へ、使用者の押野さんだからこそこのポイントを押えたお話とボランティアさんの共演で盲導犬への理解が深まりました。朝霧高原の涼しいきれいな空気を満喫し、無事に帰途につきました。バスは、「富士ハーネス」を15:00に出発し道の駅朝霧高原～河口湖I.C.～相模湖I.C.～橋本駅～大磯駅に20:00到着いたしました。参加して下さった高校生多数から「とても勉強になりました。」「感動しました。」と簡単な言葉でしたが、充実した経験であったことがうかがい知れる良い笑顔がありました。

ご参加の皆様、運転手さん、研修旅行にご協力くださった皆様に、企画した生徒共々一同深く感謝申し上げます。

## 活動報告

●山梨ハーネス友の会・長野県ハーネスの会研修交流会に理事と会員が参加しました。

期日：平成21年9月5日(土)・6日(日)

場所：山梨県石和温泉 ホテル甲斐路(会議・懇親会・宿泊)

当会は、5日(土)13:00～17:00研修会 19:00～21:00懇親会に参加しました。

研修会・懇親会には、40名以上の参加者で盛況でした。

研修会は、盲導犬ユーザー、育成機関の訓練士、ボランティアの方々の自己紹介の後、獣医師をお迎えし盲導犬の排せについての疑問・意見交換が行われました。休憩ののち今後の会の運営などの意見交換が行われ有意義な時間でした。

●市民活動フォーラム「みんなで語ろう・市民活動は面白い」

当会の理事がパネリストで参加いたしました。

場所：ひらつか市民活動センター

日時：10月3日(土) 14:00～16:30

●福祉フェスティバルに参加いたしました。

日時：10月25日(日) 10:00～15:00

場所：平塚市総合公園 平塚のはらっぱ

主催：平塚市・社会福祉法人平塚市社会福祉協議会

●神奈川県立相原高校文化祭

日時：10月31日(土)～11月1日(日)

●第19回全国産業教育フェア神奈川大会

日時：11月14日(土)～15日(日)

工業、農業、福祉、商業、など専門学科で学んでいる高校生が集い、日頃の学習成果を発表する祭典です。平成21年度は神奈川県横浜市のみなとみらいで開催されました。

当会にとりまして初めての規模的なイベントに、神奈川県立相原高等学校への協力というかたちで参加をさせていただきました。私たちの担当は「社会に貢献してるだワン」をテーマに災害救助犬・介助犬・聴導犬・盲導犬たち働く犬の紹介ブースとデモンストレーションの一部です。デモンストレーションは生徒さんが制作出演した紹介ストーリーにより、働く犬たちが順次紹介されました。また、前号でご案内した、生徒さん考案のはたいぬ船・補助犬船や災害救助犬のスカイ号、盲導犬うららがモデルの黒唐、抹茶サブレ、手作リストラップなどのグッズ販売も大忙しでした。全国規模なのでイベントの内容は書ききれませんが、北海道から沖縄、全国の高校の特色あふれるブースの他、会場内ではキッズビジネスタウンからの小学生派遣の体験コーナー、当ブースの近隣には肉類や加工品の販売もあり、七輪を使った焼肉コーナーからは垂涎ものの煙が漂い、会場内はこれからを担う若い力が溢れていました。



●全日本盲導犬使用者の会主催の東海道五十三次ウォークリレーに参加協力しました。

平成21年10月2日、京都三条大橋を出発し全犬使会の創立15周年の11月23日、日本橋にゴールするウォークリレーのイベントが開かれました。

全日本盲導犬使用者の会は、1994年11月23日に発足し2009年の発足15周年を記念して、京都から東京までの東海道五十三次(約500km)を盲導犬使用者がリレーして歩き、地域の人々と交流することで、盲導犬や盲導犬歩行のすばらしさを啓発するとともに、身体障害者補助犬法の周知を図るウォークリレーが実施され、当会から第7区盛枝～静岡岡、第8区小田原～藤沢間に運転とサポートに参加をしました。寒さのなが歩いて、食べて歩いて、歩いて、迂回し立ち寄った江ノ島で湘南の海も満喫し、担当した区間を無事つなぐことができました。

主催者発表では、盲導犬使用者さん延べ129名で500kmを競ぎ、サポートボランティアさんを含め、約300名もの方が係った大イベントだったとのことでした。

●6月21日(株)ファンケル様と社員皆様の積み立て金を合わせたご寄付を賜りました。社員の皆様は「もっと何かできるはず基金」を積み立ててください、会社がそれを倍額にしてくださいという素晴らしい社会貢献です。

私たちは多くのご寄付も有り難くその上、今後への大きな激励をいただき、日頃からご支援くださっている皆様と共に大喜びしております。

年間事業費の5%に相当するご寄付を賜りました。一同深く感謝申し上げます。

●平塚盲学校が創立百周年を迎えられ心よりお喜び申し上げます。6月12日(土)の盛大な記念式典には、当会副理事長が出席させていただきました。

●7月19日(祝)麻布大学介在動物学研究室で補助犬についての研修会に当会の理事2名、退役犬2頭が協力させて頂きました。

●7月31日(土)「はた犬ケアハウス交流納涼会」を開催しました。午後4時～9時 参加者13名 盲導犬1頭 退役犬2頭 宿泊1名 到着の皆様は恒例のウェルカムかき氷で一息ついて、ケアハウスの臨時屋台のできたてたこ焼き、お弁当、あんみつとお腹を満足させ、EPOさん&白井真子さんのコンサートや打ち上げ花火と盛沢山に楽しみました。ステージに近いエリアで聴くことができたり、他にも皆様にも多くのご尽力を頂きありがとうございました。

# ごあいさつ

役員一同

今年1月に発行予定の会報「働く犬」第12号が大変遅くなり申し訳ございません。当会の大きな牽引力でした五十嵐光雄氏が昨年11月に他界されました。また大きな目標であった認定NPO法人の申請が、役員構成上申請要件に満たないため5年(2年)後まで申請を待たなければならないことが判明し【認定NPO法人】の申請は、一旦取り下げとしました。(詳細は後述)人議していただけて反動で脱力感に陥りました。

神奈川県立相原高校様との協働は、グッズの飽と「はた犬サブレ」の開発・販売、高校生理事の誕生等、当会の新たな活力と成り、激励や元気をいただいています。

街頭での啓発募金活動は、Y銀行鎌倉支店が立替工事のため鎌倉駅西口の仮店舗で1月から再開いたしました。仮店舗は工事中の東口店舗に比べ人通りが少なく、比例するように募金額も二分の一となりましたが、道路を横断して募金して下さる方、車を止め募金して下さる方、毎回のよう募金をして下さり「いいことあるだワンシール」が何枚も貼ってある財布やカードケースを見せて下さる方、近隣の店主様が募金箱設置をお申し込みくださる等、気持ちの交流がある楽しい啓発募金活動となっています。

はた犬ケアハウスの週末利用者はクンちゃん帰国により、理療科一年生のマリアさん(インドネシア)と、引き続きのセンスリヤンさん(ラオス)のお二人です。マリアさんは、日曜日は大磯カトリック教会に通うクリスチャンです。

(株)ファンケル様と社員皆様の御厚意を賜りました。社員の皆様は「もっと何かできるはず基金」を積み立てて下さり、会社がそれを倍額して下さるといふ素晴らしい社会貢献です。私たちは多くのご寄付もあり難くその上、今後への大きな激励をいただき、日頃からご支援くださっている皆様と共に大喜びしております。昨年度に引き続き補助犬使用者や関る方々に犬と共に快適な社会生活ができるよう活発に活動していきます。当会の活動は、随時メールマガジン、ホームページ、機関紙などで引続き広く公開していきます。今後ともご支援ご協力宜しくお願い申し上げます。

## 平成20年度の事業報告書

事業報告書等の詳細は次のURLで閲覧できます。  
<http://www.hatainu.com/shushi/dai6ki.pdf>

### 1 事業の成果

はた犬ケアハウスの充実と有効的な活用を図るため、前年度の実績を基に補助犬使用者のご協力を得て学校関係の授業やイベント参加、神奈川県立相原高校ドックチームの皆さまと協働で街頭啓発活動の実施、飽やサブレ、ストラップなどグッズの開発、ホームページ、メールマガジン、機関紙等を用いた総合的な啓発活動を行いました。補助犬使用者との研修旅行や講習会の実施により、補助犬の啓発活動を行いました。

### 2 事業内容

#### I 特定非営利活動に係る事業

- (1) 補助犬等に関する調査研究及び育成団体への支援事業  
 平成21年6月21日キャリアチェンジ犬等の引取りを実施するため育成団体を訪問いたしました。9月5日補助犬使用者の団体との意見交換のため山梨ハーネス友の会・長野県ハーネスの会研修交流会に理事と会員が参加しました。
- (2) 補助犬等の退役犬施設運営及びケア事業  
 ア 補助犬等の退役犬施設運営事業

はた犬ケアハウスの円滑な運営を確保するため街頭募金を年間21回行いました。得た寄付金は、運営費や器具備品の充実を図るために使用しました。

#### 街頭募金

- JR鎌倉駅東口横浜銀行鎌倉支店エントランス付近  
 募金活動の詳細は次のURLで閲覧できます。  
[http://www.hatainu.com/event/kamakura\\_higashi.htm](http://www.hatainu.com/event/kamakura_higashi.htm)  
 以下文中のURLでイベント等の詳細を閲覧できます。

#### イ 補助犬のケア事業

はた犬ケアハウス利用規定を平成21年4月1日から施行しケアハウスを利用される方の利用環境を整えました。

利用規定のURL <http://www.hatainu.com/head/riyou.htm>

#### ウ 研修旅行

5月15、16日はた犬ケアハウスの運営、補助犬のケア事業の推進のため中部盲導犬協会の施設を補助犬使用者とともに見学、意見交換を行い当会の施設の紹介を行いました。

[http://www.hatainu.com/tabi/houkoku\\_h21\\_5.htm](http://www.hatainu.com/tabi/houkoku_h21_5.htm)

#### (3) 補助犬 セラピー犬に関する普及啓発情報提供事業

##### ア 普及啓発情報提供事業

★機関紙の発行 2月27日会報「働く犬」(第10号)を発行いたしました。印刷部数500部 無料配布数285部  
[http://www.hatainu.com/pdf\\_file/10&9gou.pdf](http://www.hatainu.com/pdf_file/10&9gou.pdf)

★ホームページの更新 随時イベントの紹介・活動報告などを掲載した。

★メールマガジンの発信 奇数月にメールマガジンを発行いたしました。

[http://www.hatainu.com/event/mailmag\\_1.htm](http://www.hatainu.com/event/mailmag_1.htm)

★親睦会の実施 3月28日ケアハウス一周年記念イベント「サクラの会」を開催致しました。参加者20名 補助犬6頭  
 7月25日「はた犬ケアハウス交流納涼会」を開催いたしました。参加者23名 盲導犬3頭 退役犬1頭 家庭犬1頭 宿泊された方5名 若々しい相原高等学校畜産科学科の生徒さん7名と日本獣医生命科学大学の学生さん3名が参加され、文字通りの交流納涼会となりました。

★総合学習、イベント等への協力 年間17回実施いたしました。

##### イ 普及啓発講演会

● 8月8日セミナーを開催致しました

[http://www.hatainu.com/event/houkoku\\_h21\\_8.htm](http://www.hatainu.com/event/houkoku_h21_8.htm)

#### II その他の事業

- (1) 物品の販売 働く犬関連商品の販売
- (2) ホームページ、機関紙への広告掲載事業 機関紙への広告掲載1社

## 平成20年度決算報告書

### 貸借対照表

平成21年9月30日現在

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	¥186,555	↑流動負債	
現金手許有価	¥239,064	未払金(ボラ謝礼)	¥31,581
普通預金	¥402,100	預り金	¥56,500
未収金(施設利用)	¥9,000		
未収金(広告収入)		流動負債合計	¥88,081

商品在庫	¥82,356		
原材料	¥42,271		
短期貸付金	¥36,350		
前払金(家賃)	¥200,000		
仮払金	¥6,795		
流動資産合計	¥1,204,491	資本の部	
固定資産		当期末未処分利益	¥1,616,410
保証金(ケアハウス)	¥500,000	(内当期利益)	(-¥352,977)
固定資産合計	¥500,000	資本の部合計	¥1,616,410
資産合計	¥1,704,491	負債及び正味財産合計	¥1,704,491

### 損益計算書

平成20年10月1日～平成21年9月30日

収入の部		支出の部	
売上高	¥71,351	育成団体助成事業	¥17,195
会費・入会金収入	¥738,000	調査研究事業	¥90,130
参加料利用料収入	¥912,700	普及啓発情報提供事業	¥426,678
寄付金収入	¥2,538,232	補助犬のケア事業	¥870,481
広告収入	¥9,000	退役犬施設の開設運営	¥2,225,985
預金利息	¥1,015	その他の事業	¥54,276
		管理費	¥938,530
前年度繰越利益	¥1,969,387	次年度繰越金	¥1,616,410
合計	¥6,239,685	合計	¥6,239,685

## 平成21年度事業計画書

事業計画書等の詳細は次のURLで閲覧できます  
<http://www.hatainu.com/shushi/dai7ki.pdf>

### 1 事業活動方針

平成21年度は、前年度までの経験を基に、はた犬ケアハウスの運営及び設備の充実を図ります。補助犬使用者の協力を得て街頭啓発活動の実施、ホームページ、メールマガジン、機関紙等を用いた総合的な啓発活動を行います。無料で学校総合学習、市民イベントなどに協力いたします。補助犬使用者と共に研修旅行や講習会を実施し補助犬の啓発活動を行います。

### 2 事業内容

#### I 特定非営利活動に係る事業

##### (1) 補助犬等に関する調査研究及び育成団体への支援事業

補助犬育成団体や補助犬使用者の団体との意見交換を行い機関紙、メールマガジンに掲載いたします。キャリアチェンジ犬等の引取りを通して育成団体の支援を行います。

##### (2) 補助犬等の退役犬施設運営及びケア事業

###### A 補助犬等の退役犬施設運営事業

はた犬ケアハウスの円滑な運営を確保するため街頭募金活動を年間20回行います。得た寄付金は、ケアハウスの犬たち向け保健に関わる費用を含む運営費や器具備品の充実を図るために使用します。

###### イ 補助犬のケア事業

補助犬使用者や家庭犬を対象に犬のシャンプー、短期預かり、緊急預かりを行います。補助犬使用者等に、はた犬ケアハウス利用規定に基づき、利用される環境を充実いたします。

###### ウ 研修旅行

はた犬ケアハウスの運営、補助犬のケア事業の推進のため補助犬育成団体の施設を補助犬使用者とともに見学、意見交換をおこない当会の施設の紹介等を行います。

##### (3) 補助犬、セラピー犬に関する普及啓発情報提供事業

###### A 普及啓発情報提供事業

普及啓発及び情報提供活動を実施するため機関紙の発行、ホームページの更新、メールマガジンの配信、親睦会の実施、無料で総合学習や福祉学習に協力します。当会の主旨に沿った市民イベント等への協力を行います。

###### イ 普及啓発講演会

一般及び補助犬使用者を対象に、補助犬に関する情報提供を目的として無料講演会、はた犬ケアハウス多目的ホールで勉強会を開催いたします。

### II その他の事業

#### (1) 物品の販売 働く犬関連商品の販売

#### (2) ホームページ、機関紙への広告掲載事業 機関紙への広告掲載

## 平成21年度収支予算書

平成21年10月1日～平成22年9月30日まで

収入の部		支出の部	
会費・入会金収入	¥738,000	補助犬等に関する調査研究及び育成団体への支援事業	¥301,540
参加料・利用料収入	¥1,170,000	補助犬等の退役犬施設運営及びケア事業	¥3,253,000
寄付金収入	¥2,200,000	補助犬に関する普及啓発情報提供事業	¥305,000
預金利息	¥6,000	管理費	¥209,000
売上高	¥90,000	その他の事業	¥74,400
	¥18,000		
前年度繰越利益	¥1,616,410	次年度繰越金	¥1,693,470
合計	¥5,836,410	合計	¥5,836,410

【認定NPO法人】の申請は、一旦取り下げました。

平成21年3月26日平塚税務署に認定NPO法人の申請書を提出致しました。4月23日東京国税局から当会事務所にて臨場による確認調査が実施されました。この調査を受けるため帳簿を見直したところ第4期の記帳に重複1件が見つかりました。また認定NPO法人取得には、役員構成で特定の法人等グループの役員は、全役員1/3以下と定められています。現在全理事6名・監事1名ですが、W社に勤務する理事が3名おり3/7となり認定NPOの要項を満たしません。上記理由により申請を一旦取り下げました。

6月6日総会を行い「理事5人以上9人以内、監事1人以上3人以内と役員の数」及び「事業の種類の変更」を決議いたしました。ただちに定款変更認証申請を行い8月28日定款の変更が神奈川県知事に認証されました。

8月29日当会の臨時総会を開催し理事2名、監事3名が新たに就任致しました。

11月30日当会の総会を開催いたしました。理事は、会議を行い空席の副理事長に宮川元也氏を選出いたしました。

平成22年3月15日東京国税局に再申請の事前相談に行きました。当会の第6期は、特定の法人等グループ(W社員)の役員が総役員数の1/3を超えているため申請要件に満たないとの見解でした。現在要件を満たしていますが、該当期を含んでは申請ができません。判定適用期まで待機するしかありません。認定NPO法の申請は、5年(実績判定期間を2年とすることができる特例の適用期限が延長されれば2年)後に再度申請を行います。



### ご寄付、ご提供ありがとうございました。

財団法人 中部盲導犬協会様 NPO法人 みんなでつくる平塚様  
 サクラの会様 サクラハウス様 はたさわ様 フィギア募  
 金様 ポッキー様 ミズモトナオ様 磯崎恵美子様 河田  
 獣医師様 花水小学校PTA様 外山 洋介様 岩永 真代様  
 岩永 葉子様 (株)ファンゲル様 (株)ファンゲル「もっと何か  
 できるはず基金」様 岩田様 高橋 敏雄様 宮川 元也様  
 芹澤 いずみ様 港小学校様 佐井 佐公子様 斎藤 那太様  
 若葉の会直井様 宗善小学校様 小川 季子様 小沢 尚子様  
 小林様 相原高等学校様 谷口 亀一郎様 中村 愛様  
 中島 三枝様 長谷川 麻子様 鶴岡 喜代様 福祉フェスティ  
 バル様 平川 純様 太原小学校様 望月 俊彦様 望月  
 操様 和田 六洋様 小野田様 野村 宏様 松本バプロ様  
 第19回全国産業教育フェア様 清川様 長尾 ミチ子様 黒田  
 晶子様 坂本 一様 五十嵐 光男様 五十嵐 紀子様 グル  
 ープfufu様 猪川様 篠本様 新井様 遠藤様  
 山田様 福田 逸様 山口 和子様 原様 日本ワコン(株)様  
 栗田 忠生様 栗田 直枝様

以上の方々からご寄附または、下記の品々をご提供いただきました。  
 事務用品 大型犬用カート 紙おむつ 排泄補助用ベルト ごみ箱  
 スチール書櫃 ベット用ケージ・バリケン ベット用マット シー  
 ツ タオル・タオルケット 毛布 除湿機 茶碗コップ等茶器類  
 台所用品 調味料 カラー・リード・ブラシ等犬具など大切に使用  
 させていただきます。

今後とも当会へのご協力よろしくお願いいたします。

### 募金箱を設置していただきありがとうございます。

(株)上野風月堂様 いしん堂様 宮瀬歯科医院様 後藤愛犬  
 病院様 ギャラリーKAMAKURA藤木様 サンコーボレーショ  
 ン様 コメダ珈琲上平塚店様・藤沢店様 大坪歯科医院様  
 長谷川 龍子様 自家焙煎カフェバモス様 麺やBar 鴻様  
 こりとろハウス様 河田動物病院様 Dog Salon Baby Dog様  
 三五郎様 (有)よしなが様 菊華大飯店様 周 平様  
 湯けむり様 湘南ケアサポートわかばの会様 フジゴルフシ  
 ョップ本店様 琴寿し様 伊藤 リエ子様 鈴木 晴一様

### 会員紹介

叶内エピータを紹介します。(タイトル頁の右上写真)

エピータがわが家に来たのが12年前。盲導犬の繁殖犬と  
 して日本盲導犬協会から委託されました。とても気が弱くて  
 やせっぽちな、小柄なゴールデンの女の子でした。何事にも  
 適慮がちで皆から姫、姫と呼ばれていたのですが、その年の  
 夏には6頭の子犬が生まれ、母としての自覚が芽生えました。  
 こうして2度の出産を経て6歳で引退。大きな病気を何度も  
 経験しましたが、持って生まれた胃腸の強さ、ストレスを溜  
 めないノーテンキさが、今年14歳という高齢を迎えること  
 ができた一因だと思っています。お陰で先日、市の獣医師会  
 より表彰を受けました。今でも自分の足で散歩ができるとい  
 うことは、とても幸せなことと思っています。一年でも一日  
 でも永くこの生活が続くことを願っています。

## 会員募集中

平成22年7月31日現在の会員数  
 正会員29名、賛助会員95名、合計124名

賛助会員は一年間一口3,000円でお一人何口でも結構です。  
 申し込みのURL <http://www.hatainu.com/kain.htm>  
 正会員は入会費8,000円 年会費12,000円です。  
 申し込みのURL <http://www.hatainu.com/shain.htm>  
 加入は、随時受け付けております。  
 会員の方には、会員証、会報「働く犬」の送付、随時講演会などへ  
 のご案内を送付させていただきます。なお正会員は、社員総会での  
 決議権や役員への被選挙権等を有します。会費は、ボランティア活動  
 の謝礼から充当させていただくことがあります。更新は、入会また  
 は更新後約一年経過された会員の方に、当会からご連絡いたします。  
 皆様のご支援ご協力お願い致します。

特定非営利活動法人 郵便振替：00200-9-0130454  
 振込先：**働く犬を支援する会** 横浜銀行平塚支店：普通2036588

## 募金箱設置のお願い



店舗などのレジの近くに  
 募金箱を置かせてくださ  
 る方を募集しています。  
 設置していただける方  
 は、下記ホームページ、  
 又は  
**TEL. 0463-54-4660**  
 にてお申し込み下さい。

<http://www.hatainu.com/bokin.htm>



甘い香りに包まれてまごころ伝えます

- 洋菓子
- 和菓子



- 喫茶
- パーラー

**風月堂**

上野広小路

東京都台東区上野1丁目20-10

TEL. 03(3831)1000 FAX. 03(3831)1116